



2019年3月12日

各 位

会社名 株式会社オハラ  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和  
 (コード番号 5218 東証第1部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 中島 隆  
 (TEL 042 (772) 2101 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年10月期の業績予想につきまして、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年12月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2019年10月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正

(2018年11月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,400	百万円 1,350	百万円 1,400	百万円 1,000	円銭 41.11
今回修正予想 (B)	12,700	780	850	50	2.06
増減 (B - A)	△700	△570	△550	△950	—
増減率 (%)	△5.2	△42.2	△39.3	△95.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年10月期第2四半期)	13,077	1,331	1,475	1,438	59.15

(2) 2019年10月期通期連結業績予想数値の修正

(2018年11月1日～2019年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 27,300	百万円 2,800	百万円 2,900	百万円 2,000	円銭 82.22
今回修正予想 (B)	24,600	1,500	1,700	600	24.67
増減 (B - A)	△2,700	△1,300	△1,200	△1,400	—
増減率 (%)	△9.9	△46.4	△41.4	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年10月期通期)	28,221	3,270	3,705	3,220	132.37

## 2. 業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の業績予想値につきましては、売上高は、エレクトロニクス事業において、スマートフォン向けの耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」の需要が減少していることなどから、前回予想を下回る見込みとなりました。また、損益は、第1四半期に貸倒引当金繰入額などを販売費及び一般管理費に計上したこと、光事業の連結子会社一社を閉鎖したことに伴う関係会社整理損を特別損失に計上したこと及び繰延税金資産を取り崩したことなどから、各段階利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、上記に加え下期において、売上高は、光事業において、カメラ市場の縮小に伴う需要の減少が見込まれるほか、エレクトロニクス事業において、露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスの需要回復時期が当初想定より遅れる見込みとなったこと及びスマートフォン向けの耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」の需要が低下する見込みとなりました。また、損益は、売上高の減少に伴う光学ガラス、特殊ガラスの生産量減少による工場稼働率の低下が見込まれることなどから、各段階利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上